【「夏の過ごし方」についてのアンケート】 **札幌圏の70%がエアコンのある家に住んでいる!**観測史上最も暑い夏、暑さや熱中症への意識が高まる

マーケティングリサーチサイト「インサーチ(INSEARCH®)」にて実施いたしました「夏の過ごし方」についてのアンケート結果をお知らせいたします。「インサーチ」は札幌市の広告会社である当社「インサイト」が「札幌の企業を元気にする」というキャッチフレーズで運営しております。

TOPICS

- ■この夏実施した屋外レジャーは<u>「ジンギスカン、バーベキュー」「夏祭</u> **りやフェスなど屋外イベント」**が上位。
- <u>69.6%</u>の人が自宅に<u>「エアコンがある」</u>と回答。 また、**20.8%**の人が**「2台以上エアコンがある」**と回答。
- ■屋外で過ごす機会が<u>「減つた」人は40.2%</u>、「変わらない」人は52.4%。 屋外で過ごす時間帯を朝や夜へ「変えた」人は36.4%。
- 47.6% の人が、この夏に **暑さ対策用品や家電を購入**、 内容は「日傘」「扇風機・サーキュレーター」「ハンディファン」 が上位。
- ■クーリングシェルター認知は77.2%。このうち、58.5%の人が自宅 近くのクーリングシェルターを把握していた。

分析Summery

- ▶ 今年の夏の暑さを反映する結果となった。 全国的に「観測史上最も暑い夏」となる中、札幌では真夏日を34回観測。1924年の記録を101年ぶりに更新し、1876年の統計開始以降、過去最多であった。
- ▶ 令和7年4月発表、内閣府「消費動向調査」では、エアコンの普及率は全国で91.7%、 北海道・東北エリアで73.8%。令和2年4月発表の同調査では、北海道・東北エリアの エアコン普及率が59.2%であったことを踏まえると、この五年で急速にエアコン普及 が進みつつあることがうかがえる。
- ▶ 暑さや熱中症への意識の高まりを反映する結果となった。屋外活動の頻度や時間帯を変えたり、暑さ対策用品を購入したりするなど、人々の具体的な行動に表れている。



く調査概要>

調査目的: 猛暑の夏の過ごし方についての話題提供

調査方法: インサーチモニターを対象としたインターネット調査

分析対象者: 札幌圏内在住の18歳以上の男女 調査実施期間: 2025年9月8日(月)~9月12日(金)

有効回答者数: N=500

実施機関: 株式会社インサイト

<調査項目> ★今回公開。その他結果閲覧ご希望の際はお問い合わせください。

★この夏に行ったレジャー

- ★屋外で過ごす機会の頻度(昨年比)
- ★屋外で過ごす時間帯の変化(昨年比)
- ★自宅でのエアコン保有について
- ★この夏に購入した季節用品·季節家電
- ・来年の夏に備えて購入を検討している季節用品・季節架電
- ・具体的に行った暑さ対策
- ・暑さをしのぐために利用した施設
- ★クーリングシェルターの認知
- ・自宅付近のクーリングシェルター認知

<回答者属性>

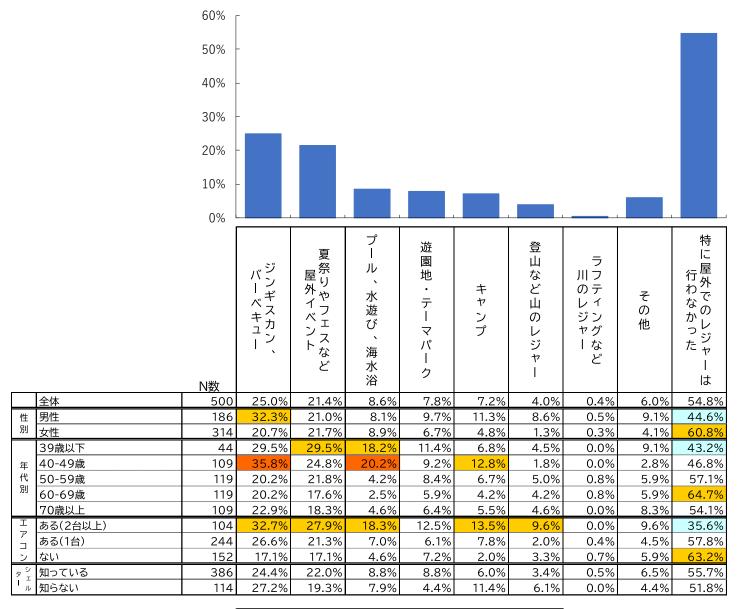
	全体	500名	100%	
	男性	186名	37.2%	
Γ	女性	314名	62.8%	

	全体	全体(%)
計	500名	100%
39歳以下	44名	8.8%
40-49歳	109名	21.8%
50-59歳	119名	23.8%
60-69歳	119名	23.8%
70歳以上	109名	21.8%



0.この夏、あなたが行ったレジャーは何ですか。あてはまるものをお選びください。(いくつでも)

「ジンギスカン、バーベキュー」が最も多く、レジャーを行った方の60.7%が選択。「夏祭りやフェスなど屋外イベント」が2番目に多い。どちらも、年代を問わず広く行われていた。年代別では、「プール、水遊び、海水浴」が40代以下で多くなっている。若年層ならびに子育て層の実施と推測される。



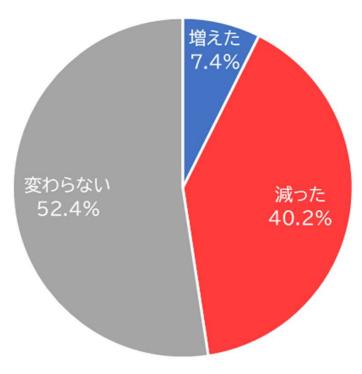
全体+10% 全体+5% 全体-5%

N=500



Q.今年(2025年)の夏は、去年(2024年)に比べて、あなたが屋外で過ごす機会は増えましたか、減りましたか。

全体の52.4%が「変わらない」と回答。「減った」と回答した人は40.2%にのぼった。 年代別では、70代で「減った」と回答した人が多い。 クーリングシェルターを知らない人では、「変わらない」と回答した人が63.2%にのぼり、他より 多い傾向を示した。

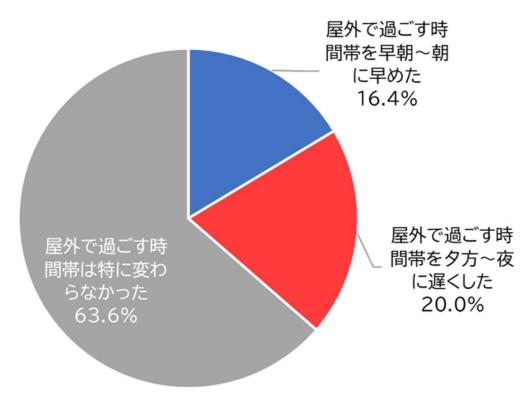


N=500

		N数	増 え た	減った	変わらない
	全体	500	7.4%	40.2%	52.4%
性	男性	186	10.2%	34.9%	54.8%
別	女性	314	5.7%	43.3%	51.0%
	39歳以下	44	11.4%	3 8.6%	50.0%
年	40-49歳	109	10.1%	34.9%	55.0%
代	50-59歳	119	5.9%	4 2.0%	52.1%
別	60-69歳	119	5.0%	3 7.0%	58.0%
	70歳以上	109	7.3%	47.7%	45.0%
エア	ある(2台以上)	104	11.5%	34.6%	53.8%
	ある(1台)	244	7.0%	4 2.2%	50.8%
ン	ない	152	5.3%	4 0.8%	53.9%
タェ	知っている	386	7.3%	4 <mark>3.5%</mark>	49.2%
I ル	知らない	114	7.9%	28.9%	63.2%

Q.今年(2025年)の夏は、去年(2024年)に比べて、あなたが屋外で過ごす時間帯に変化はあり ましたか。

全体の63.6%が「特に変わらなかった」と回答。 年代別では、70代で朝に活動する人が、30代以下では夜に活動する人が多い傾向にあった。 エアコンを2台以上保有する人は、屋外での活動時間帯を柔軟に変えている傾向にあった。



N=500

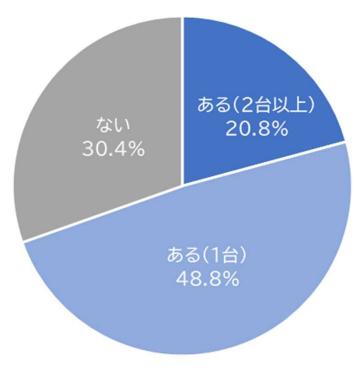
		N数	早朝~朝に早めた屋外で過ごす時間帯を	夕方~ 夜に遅くした屋外で過ごす時間帯を	特に変わらなかった屋外で過ごす時間帯は
	全体	500	16.4%	20.0%	63.6%
性	男性	186	17.7%	17.2%	65.1%
別	女性	314	15.6%	21.7%	62.7%
	39歳以下	44	13.6%	25.0%	61.4%
年	40-49歳	109	12.8%	16.5%	70.6%
代	50-59歳	119	11.8%	23.5%	64.7%
別	60-69歳	119	16.0%	18.5%	65.5%
	70歳以上	109	26.6%	19.3%	54.1%
エア	ある(2台以上)	104	20.2%	26.9%	52.9%
	ある(1台)	244	17.2%	18.0%	64.8%
シ	ない	152	12.5%	18.4%	69.1%
タェ	知っている	386	16.3%	22.5%	61.1%
ール	知らない	114	16.7%	11.4%	71.9%

Q.あなたのご自宅には、エアコンがありますか。

複数台「ある」と答えた人は20.8%、1台「ある」と答えた人は48.8%。全体の69.6%が自宅にエアコンを保有している結果となった。

年代別では、エアコンの保有率がもっとも高いのは50代の76.5%、つづいて30代以下の75.0% となっている。

住居形態別では、持ち家に住む人の76.4%が自宅にエアコンを保有しており、高い水準を示した。一方、賃貸などでのエアコン保有率は51.1%と半数程度にとどまった。



N	=5	0	0

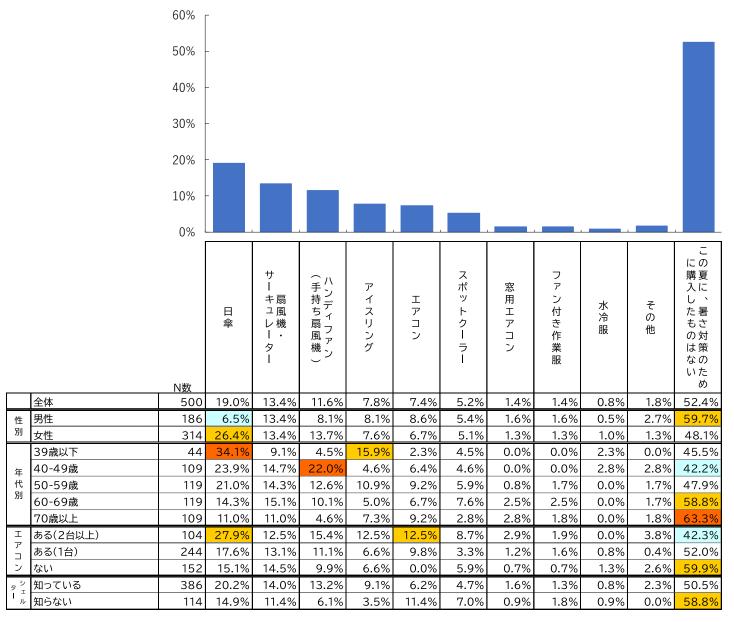
				ある(2台以上)	ある(1台)	ない
		N数				
	全体	500		20.8%	48.8%	30.4%
性	男性	186		21.5%	45.2%	33.3%
別	女性	314		20.4%	51.0%	28.7%
	39歳以下	44		13.6%	61.4%	25.0%
年	40-49歳	109		22.0%	45.0%	33.0%
代	50-59歳	119		21.0%	55 .5%	23.5%
別	60-69歳	119		22.7%	45.4%	31.9%
	70歳以上	109		20.2%	44.0%	35.8%
タェ	知っている	386	annone.	21.8%	50.0%	28.2%
ール	知らない	114		17.5%	44.7%	37.7%
形住	持ち家	365		25.8%	50.7%	23.6%
態居	賃貸など	135		7.4%	43.7%	48.9%

この夏に購入した季節商品・季節家電



Q.次のうち、あなたのご家庭でこの夏に購入したものはありますか。あてはまるものをお選びください。(いくつでも)

「日傘」「扇風機・サーキュレーター」「ハンディファン」が上位。屋外で手軽に使える日傘やハンディファン、住まいの制限を受けにくい扇風機やサーキュレーターが多い結果となった。 年代別では、50代以下で暑さ対策用品や季節家電の購入が多い。



全体+10% 全体+5% 全体-5%

N = 500

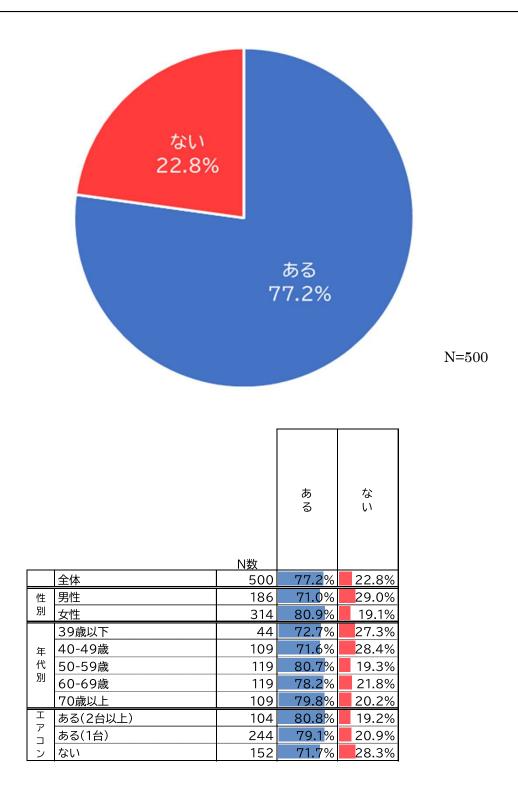
※その他に含まれるもの

アイスノン(氷のう)、冷感シート、除湿器、遮熱遮光カーテン など。



Q.あなたは、「クーリングシェルター」という名前を聞いたことがありますか。

全体の77.2%が「ある」と回答。 性別や年代を問わず、全体的に高い水準で「クーリングシェルター」の単語が認知されていた。



本レポートに掲載されている調査結果は、 出典先を「インサーチ札幌」と明記の上、ご利用ください。

くお問い合わせ先>

■INSIGHT。株式会社 インサイト デジタルビジネス部 多田

e-mail: tada@ppi.jp